

KYUSAN JOURNAL

九州産業高校通信【九産ジャーナル】



SEPTEMBER
2020 AUTUMN

NO.2

KYUSAN JOURNAL AUTUMN 2020 SEPTEMBER No.2

2020年9月

発行：九州産業大学付属九州産業高等学校

〒818-8585 福岡県筑紫野市紫2-5-1

Tel.092-923-3030

Fax.092-928-4664

HP <https://www.kyusan.kyusan-h.ed.jp>

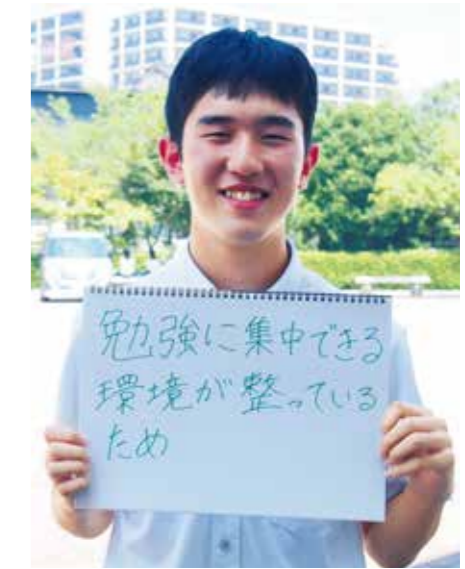
Q.あなたが九産を選んだ理由は？



1年普通科特進クラス
井本 誠一郎 (南陵中出身)



1年普通科進学クラス
小山 南美 (多々良中出身)



1年普通科スーパー特進クラス
小松 健伸 (春日東中出身)



1年普通科準特進クラス
國友 柑菜 (那珂川北中出身)



1年普通科進学クラス
土生 庵 (姪浜中出身)



1年普通科特進クラス
池下 凜音 (御陵中出身)



1年普通科準特進クラス
武井 優羽 (諏訪中出身)



1年普通科スーパー特進クラス
永田 みゆ (春日南中出身)



1年機械科
古木 彬雅 (高宮中出身)

interview

「未来への一歩を、ここから」



山崎 悠いなが

目標は、ハンドボール部で全国大会優勝 「仲間の大事さに改めて気付かされた」とコロナ休校を語る

コロナウィルスは今年度の学校教育において多くの影響を与え、本校も休校期間が長く続いた。2年機械科の後藤優希君(春吉中出身)はそのコロナ休校を受けて、現在の学校生活を語ってくれた。後藤君は1年生の頃より、ハンドボール部のレギュラーメンバーとして活躍している。ポジションはサイドで、小学校から続けている。休校中は練習が出来なかったが、ようやく再開された現在の状況を「仲間の大事さについて改めて気付かされた」、「きつい練習も仲間と一緒に頑張れる」と笑顔を浮かべた。

その一方で機械科クラスに在籍し、ジュニアマイスターゴールドを目指して、日々勉強に励んでいる。ジュニア

マイスターとはアーク溶接、危険物、電気工事士などの様々な資格を取得した高校生の中から表彰される制度。後藤君の2年生1学期終了時点での資格取得数は、ブロンズクラスに当たる。

機械科の授業に関して聞いたところ、「実習で、実際に自分が手を加えた結果が、形になって出来上がっていくことが楽しい」と目を輝かせた。幼い頃から、自動車に興味があり、将来は高校時代に取得した資格を活かして、自動車関連の企業への就職を考えているそうだ。

部活と勉強の両立を実践している後藤君のその表情は凛としていた。



Yuki Goto
後藤 優希 君
春吉中出身 機械科2年



第一印象は「明るく楽しそうな学校」 進路実現のため「文武両道」の学校生活

本校では中学生対象の体験入学やオープンスクールにて、模擬授業や学校紹介を行っている。2年普通科特進コースの藤井遥さん(大利中出身)も、中学3年生の時に本校のオープンスクールに参加。その中で「明るく、楽しそうな学校」という印象を受けたことから、受験を決めたという。他の学校の体験入学にも参加したが、この「明るい雰囲気」が自分に合っていると思い、本校を目指したそうだ。

藤井さんが在籍する特進コースは国立大学への進学を目指しているコースである。藤井さんは建築に関する学部を持つ大学へ進み、建築のデザインや家具などのコーディネートをする仕事に就きたいと夢を語る。そのため、本校の特進コース(理系)の中で日々勉強に励み、弓道部にも在籍しながら、文武両道を目標に頑張っている。部活については、高校入学が決まった時から、何か新しいことにチャレンジ

Haruka Fujii

藤井 遥 さん

大利中出身 普通科2年



したいと考え、経験がなかった弓道の道を選んだ。部活と勉強の両立は、「時間が無い」、「体力もきつい時がある」などと苦労もしているが、自分の目標を見失わず、実現するために、学校の休み時間、登下校時の電車内など隙間の時間を有効に活用している。

また、先輩として、これから受験を控える中学生に「問題の傾向を分析することが大事。過去問演習を大事にしてほしい」とアドバイスも残してくれた。文武両道の実現は、決して楽ではない。それでも自分の夢に向かって頑張る藤井さんの今後の活躍が楽しみだ。

